営農情報７月号

■さくらんぼ

１．双子果対策

双子果は、花芽形成期の７月中旬～９月上旬頃が高温となった際に、発生が助長されます。「樹勢が弱い」、「早期落葉した」場合は双子果が発生しやすいため、基本的な対策を徹底しましょう。「紅秀峰」など発生しやすい樹には、資材を活用した対策を実施しましょう。

◆基本的な対策
① 夏季剪定の見直し **不必要に実施しない** **実施時期を遅くする（９月上旬以降）**
② 健全な樹体生育の確保 **適切な肥培管理、かん水の実施** **病害虫防除徹底による早期落葉防止**

◆資材などを活用した対策
① 遮光資材（寒冷紗など）の展張
② 樹上散水の実施

※詳しくは、「さくらんぼ高温対策マニュアル」をご覧ください。

２．収穫後管理

昨　年　は　「　褐　色　せ　ん　孔　病　」　が　多　く　発　生　し　ま　し　た　!!

収穫終了後は被覆資材を除去し、防除を速やかに実施しましょう。「褐色せん孔病」は、降雨により感染が広がるため、雨が当たる前に防除を実施しましょう。

雨除けハウス内は、長期間の被覆により土壌が乾燥した状態になっているため、被覆除去後に雨が少ない場合は、かん水を行いましょう。

花芽の充実と貯蔵養分蓄積のため、礼肥は収穫終了後すぐに施用しましょう。樹勢の強弱や葉色の濃淡を判断して施肥量を加減しましょう。「紅秀峰」は樹勢が低下しやすいため、礼肥の割合を５割以上にしましょう。

◆礼肥の施用基準

年間施肥量：　窒素成分１５kg／１０a 程度
礼肥の割合：　年間施肥量の２～５割（３．０～７．５kg／１０a）
着果量が多かった園地や樹では、礼肥の割合を多めにする。
結実が少なく樹勢が旺盛になっている樹では、施肥を控えめにする。

■ぶどう

◆開花期（寒河江市：園芸農業研究所）

品種	開花始期			満開期			落花期		
	R6	本年	平年	R6	本年	平年	R6	本年	平年
デラウェア	5/22	6/3	5/29	5/26	6/5	6/1	6/2	6/10	6/6
シャインマスカット	6/3	6/8	6/7	6/7	6/12	6/12	6/10	6/15	6/16

１．デラウェア

ハウス栽培では、高温障害を回避するため、つま部分のビニールの除去や谷間の開閉をこまめに行い、日中の気温が３０℃を超えないように管理しましょう。また、土壌の乾きに応じて、地表面散水を行いましょう。

雨除け・露地栽培では、適正な着房数になるよう仕上げ摘房を行いましょう。着房数は１新梢当たり２房を基本としますが、７月中旬頃に葉数が１５枚に満たない新梢は１房に摘房し、１坪当たり４０房を目安に仕上げましょう。

高温で着色が進みづらい場合は、夕方に１０ａ当たり１００～２００ℓ程度の棚面散水を行いましょう。着房過多や大房など着果負担が大きいと着色が進みにくいため、適正着果量に努めましょう。

２．ピオーネ、シャインマスカット

２回目のジベレリン処理直後頃から摘粒作業を行いましょう。早期の摘粒は、果粒肥大促進だけでなく、裂果防止にも効果があります。時期が遅れると、作業性が悪くなり、果粒に傷がつきやすくなるので、７月中旬までに仕上げましょう。

◆シャインマスカット果房の目安（仕上げ摘粒時）

軸長	段数（支梗数）	粒数
８～１０cm	１３～１５段	４０～５０粒

袋かけ前に果粒同士が密着している場合は、修正摘粒を行いましょう。

果粒肥大の促進と収穫期の裂果軽減のため、収穫３０～４０日前（８月中旬頃）までは、乾燥しないよう十分な土壌水分を確保しましょう。

果粒肥大を促進するため、２回目のジベレリン処理時期頃から収穫期までの間は、新梢の未展開葉を随時摘心しましょう。ただし、ベレゾーン期（満開後５～６週間：７月中下旬頃）の摘心は肥大不足や縮果の発生を助長するため、実施を控えましょう。

■りんご・西洋なし・もも

りんご、西洋なしは修正摘果を行いましょう。摘果に当たっては、小玉果・サビ果・奇形果など商品価値が劣るものを落としましょう。

りんご黒星病が見られる園地では、発病果を見逃さないように摘除し、集めて適切に処分しましょう。

もも硬核期は、７月６日頃には終了する見込みです。核の硬化を確認したうえで、双胚果・核割れ果などを摘果し、新梢管理を行いましょう。

７月は新梢が繁茂し、樹冠内部への薬剤の到達性が悪くなります。樹の幹回りや主枝の分岐部などを中心に徒長枝管理を実施しましょう。ただし、今年も高温が予想されており、枝や果実の日焼け防止のため、切り過ぎに注意し、主枝の背面に５０cm 程度の間隔で適度に徒長枝を残しましょう。

■農作業安全・熱中症対策は万全に！

さくらんぼ収穫・出荷作業お疲れさまでした！これから夏本番を迎えます。今年も高温が予想されるため、「熱中症」には十分に気を付けましょう。こまめな休憩や水分・塩分補給を行って、しっかり体調管理を行いましょう！

雨除け資材の除去などの高所作業や機械を使った作業を行う際は、なるべく複数人で作業を行い、事故防止に努めましょう！